

『世界へのプレゼントになろう』 Be a gift to the world

RI会長 K.R.“ラビ”ラビンドラン 第2590地区ガバナー 箕田 敏彦



川崎中原ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKAHARA R.C. WEEKLY/2015~2016

会長・市川 功一 幹事・会田 公雄 会場監督・高瀬 建夫 会報委員長・戸張 裕康

事務所・〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104

TEL.044-722-7282 FAX.044-722-0066 E-mail:info@nakahara-rc.com

◆例会場 ホテル精養軒 木曜日 PM12:30~(第2週 AM7:30~)TEL:044-711-8855(東横線 武蔵小杉駅徒歩3分)

第1336回 (本年度19回)

平成27年11月26日(木)「桂林」移動例会

点 鐘 市川 功一 会長

司 会 古越 孝男 会場監督

斉 唱 「四つのテスト」

会員出席報告 小林 正樹 親睦委員

本日	会員数	出席	欠席	出席率
	25名	15名	10名	71.43%
前々回(11月12日)	欠席0名	Make up 0名		100.0%

欠席者：宮崎会員、戸張会員、徳安会員、歌崎会員、高木会員、高瀬会員

お客様紹介 市川 功一 会長

加藤 妙子様 (おと絵がたり代表)

金田 幸子様 (おと絵がたり副代表)



本日のミニ情報 市川 功一 会長

当クラブ推薦の岩木さんが選ばれたロータリー青少年交換制度は1920年代ヨーロッパの少数のクラブ間で始まり、1950年代にいまの原型へと発展して行きました。1972年、RIは価値ある国際的な活動として世界中に推奨することを認め、毎年7,000人以上の学生が、約80か国で勉学に励んでいます。当地区では毎年海外から8名を受け入れ、8名を派遣しています。

会長報告 市川 功一 会長 (12月3日)

◇臨時理事会の報告 (11月26日開催)

- ・松沢成文参議院議員の卓話は、年末家族会ではなく、別日程にて調整
- ・当クラブ推薦の青少年交換学生応募者 岩木みすずさんについて、地区より正候補者の合格通知が届きました。カウンセラーは、宮崎玲児青少年奉仕委員長に依頼し、承諾を頂きました。宮崎委員長、よろしくお願ひいたします。

1. 箕田敏彦ガバナーより、公式訪問ならびに地区大会の礼状を頂戴しております。
2. RI日本事務局より、12月のロータリーレートは、1ドル=120円との連絡が入っております。年内の寄付の場合は、12月18日(金)までにお手配下さいとの事です。
3. ホテル精養軒より、新本館オープンご披露会開催のご案内を頂戴しました。日時：平成28年1月8日(金) 午後1時より (一般オープンは午後3時より) 場所：ホテル精養軒 2階 新宴会場「飛翔」
4. 次週12月10日は、年末家族会です。ご家族お誘いあわせの上ご出席下さい。ご参加お待ちしております。

幹事報告 会田 公雄 幹事 (12月3日)

1. 地区からの来信
 - ①青少年交換学生リエンション・クリスマス会開催のご案内が届いております。日時：2015年12月5日(土) 場所：ホテルキャメロットジャパン
 - ②インターアト年次大会開催のご案内が届いております。日時：2016年1月17日(日) 9:30-16:00 場所：関東学院中学校高等学校
 - ③青少年指導者養成セミナー(RYLA)の登録締切を12月18日(金)まで延長との連絡が届いております。
2. 他クラブ例会臨時変更
 - 川崎大師RC
12月16日⇒22日(火) 年忘れ家族会 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
12月23日・30日(水) 休会
1月6日⇒7日(木) 点鐘12:30 新春4RC合同例会 川崎日航ホテル
3. 本日例会終了後、理事会を開催致します。理事・役員各位のご出席をお願い致します。

卓話 入会卓話 江口 進 会員



本日は、私のこれまでの半生の中で、ロータリークラブの提唱する「職業奉仕の理念」にふれるまでの軌跡について申し上げていきたいと思っております。私は、去る7月、縁あって川崎中原ロータリークラブに入会いたしました。そして、入会後すぐ、研修会を開いていただき、職業奉仕の理念についてご教示を受けました。職業奉仕の理念とは、専門職業人としてのprofessionと、顧客と自分自身、そして社会に利益をもたらすものとしてのbusinessをともに実践することにあると学びました。そして、いま振り返りますと、私のこれま

での半生は、**business** と **profession** の双方を追求することの重要性に気付くためにあったものと思います。

私は、1964年8月20日、東京都板橋区の日本大学板橋病院で出生いたしました。私の父はアパレルメーカーの営業マンで、主に百貨店への納入を仕事としていました。営業職ですので、平日は残業と接待で連日深夜に帰宅、週末は週末で、接待ゴルフに明け暮れておりました。まさに **business** の真ただ中に身を置き、会社と顧客の利益を図るため、そして家庭を維持するために命がけであったわけです。しかし、まだ子供であった十代の私には、**business** とは、営業とは、ただただ過酷で人間の心身をむしばむ苦役としか思えませんでした。世間知らずで苦勞を嫌う甘えん坊の私は、次第に、趣味の読書にのみ没頭、経験もしていない実社会に対して忌避感をもつこととなりました。私は、高校を卒業し大学に進学する段になって、漠然と「図書館員になり本に囲まれて生涯を過ごしたい（図書館の運営が **business** である事は理解していませんでした）」と思い、都内のある私立大学の文学部を受験しました。それと同時に、同じ大学の法学部も受験しました。いま考えると、心のどこかに、社会を忌避するような甘えは世の中で通用しない、**profession** はともかく **business** を全うすることは社会人として当たり前だという気持ちが芽生えていたと思いますが、結果は法学部に合格、文学部は不合格でした。大学進学後も、相変わらず社会に出たくなく、漠然と「大学院に行き学者を目指したい」と考えていましたが、指導教授の「社会に出る能力のある者は就職しなさい。進学は認めない」との一喝で、背中を押されるようにして就職することとなりました。当然、教授もまた、私の甘えを見抜いていたわけですが、思えば、大学進学時と卒業時に「(**business** の) 神様が降りてきて」現在に至る道筋をつけてくれたのかもしれない。

社会人になって初めての勤務先は、新聞社傘下の、証券市場の報道を強みとする放送局、そこで私は証券記者となりました。当時の東京証券取引所は、いわゆる「場立ち」といわれる専門の証券会社員が身振り手振りを駆使して売買を行っており、異常なまでの熱気が満ちておりました。彼ら証券マンは、あらゆる新聞記事を無駄なく読んでおり、我々記者が不勉強な場合、鼻もひっかけてもらえませんでしたので、私もまた、毎日必死に勉強しました。

そして、不器用ながらも懸命に食らいつく私の姿を見てか、百戦錬磨の証券マンも私に心を開いてくれるようになりました。当時は、バブル景気の末期でしたが、彼ら証券マンはプロだけあって冷静でした。1989年の初め、取材後に「あと1年でバブルは崩壊、長い不況が来る。君は記者に向いていない。まじめが取り柄なのだから、公務員になれ」とアドバイスを受けました。当時、公務員は安月給で人気のない職種でしたが、証券マンのプロ意識に心酔していた私は、その忠告に従い、地元神奈川県職員の募集に応募、辛うじて試験に合格しました。これも、いま思えば、放送局の上司よりも証券マンの方に **business** に生きる者としての説得力を感じたからだと考えております。

再びの方向転換、1990年1月、私は神奈川県の職員となりました。公務員としての職員生活は、最初のうちは楽しいものでした。しかし、職位が上がるにつれ、物足りなさが高じてきました。大企業と同じく官庁も、現場の第一線での仕事はやりがいがあります。なぜならそれは、「攻めの仕事」だからです。職位があがれば、どうしても「組織を守る」ための仕事が多くなります。幸

か不幸か、上司に恵まれた私は、管理部門（出世コース）に行かないかとオファーを受けます。このまま県庁で勤め上げて、安定した人生を送るのもよい。しかしそれは本当に自分の望んでいた人生だったのか？自問自答をする日々が続きました。

ちょうどその頃、思わぬところから **business** と **profession** への道が開かれることになりました。

高校の同級生で、歯科の勤務医をしていた友人と飲んだ際「自分が独立開業したら一番ほしい存在は、信頼できる税理士だ。税理士になってほしい」と言われました。いま考えると、税理士とは、専門職業人としての **profession** と、顧客と当社、及び社会全体に利益を与える者としての **business(person)** の両方を兼ね備えた仕事であり、この職業を志望したことにより、私の人生は「職業奉仕の理念」へとその一步を踏み出す事となりました。その後、人事異動の前、勉強に時間を取れる県税事務所への転勤を希望した私に対して、上司は驚きの表情を見せましたが、私の信念が崩れることはありませんでした。1999年3月のことでした。

税理士試験の勉強を開始してから、さらにいろいろな出会いがありました。県税事務所では、誰もが嫌う徴収の仕事につきまわりました。脅迫されたことも数知れずありました。また、先述の歯科医師からは、裏切りを受けた上、絶縁状態になったりしました。

それでも、幸いにして税理士試験に合格、税理士登録後に川崎北法人会青年部での仕事が縁で戸張裕康、宮崎玲児両会員の知遇を受け、結果、川崎中原ロータリークラブに入会をすることができました。両会員には感謝の言葉以外ありません。今後は、これまでの半生で出会った方々への感謝を忘れないと共に、職業奉仕の理念を理解すべく、更なる精進を重ねたいと決意しております。

以上、本日ご列席の会員の皆様に感謝を申し上げるとともに、人生の最初に、その背中で **business** の尊さを教えてくれた私の父、江口一郎に謝意を述べることで、私の拙い卓話を締めくりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

ニコニコ報告 小林 正樹 親睦委員長

市川 功一 会長 会田 公雄 幹事

本日から精養軒が使えないので3回移動例会になります。今日は「おと絵がたり」のお二人に参加いただきありがとうございます。また江口さん入会卓話楽しみにしています。

鈴木 次男 会員

「おと絵がたり」の代表の加藤様、副代表の金田さん、今日はようこそ！

「みんなニコニコ」

工藤 和弘 会員・山本 剛 会員・若狭 滋則 会員 都倉 八重子 会員・小泉 正博 会員 SAA一同

昨日は東京で一時雪が降ったそうです。今日からコートとマフラー、手袋と完全防寒できました。寒暖の差が激しいので風邪などひきませんように。

親睦委員会一同

昨日からの冷たい雨にはビックリでしたね。今日の江口さんの卓話でホットになってください。おと絵がたりの皆様ようこそお越しくださいました。

ニコニコボックス	本日	10,000円	累計	358,000円
記念日ニコニコ	本日	0円	累計	45,000円